

議会 かながわ

令和7年 第2回定例会
(5月15日から7月25日まで)

No.187 令和7年(2025年)
8月28日(木)発行



県議会ホームページ <https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/>

神奈川県議会

検索

編集・発行・お問合せ 議会局政策調査課
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
電話 (045) 210-1111(代表) (045) 210-7564(直通)
FAX (045) 210-8907



緑のハートのマーク  は、県議会のマークです。緑は神奈川県を自然を表し、開かれたハートは、県議会の活動で県民の皆さまの心をつなげたいという、願いが込められています。

令和7年度6月補正予算案等を可決

令和7年第2回神奈川県議会定例会は5月15日から7月25日まで開かれました。

6月13日及び7月25日には、国による高校無償化の先行措置への対応や物価高騰対策のほか、早急に対応する必要がある事業について、総額145億4000余万円の6月補正予算を可決しました。

このほか、7月25日には、神奈川県行政機関設置条例の一部を改正する条例などを可決しました。

6月補正予算の主な内容	予算額
高校生等臨時支援金の支給	92億8,644万円
LPガス料金の高騰に対する支援	22億7,304万円
産科・小児医療体制の確保	3億7,616万円
訪問介護等サービス提供体制の確保	2億8,967万円

可決した主な 条例案の概要

● 神奈川県行政機関設置条例(改正)

平塚合同庁舎の再整備による、湘南地域県政総合センター、平塚県税事務所及び平塚土木事務所の仮設庁舎への移転や、大和綾瀬地域児童相談所の移転及び名称変更のための条例案を審議し、改正を行いました。

● 神奈川県立の高等学校等の設置に関する条例(改正)

県立高校改革実施計画(Ⅲ期)に基づく再編・統合により、田奈高校と麻生総合高校を新たに青葉総合高校として、小田原城北工業高校と大井高校を新たに小田原北高校として設置するため、条例案を審議し、改正を行いました。

議長、副議長決まる

5月22日には、正副議長の選挙が行われ、議長には、長田進治議員(自民党)、副議長には、谷口かずふみ議員(公明党)が選出されました。

議長



おさだ しんじ
長田 進治
自民党
海老名市

922万県民の負託を心に刻み、臆することなく、その重責を果たしていく所存でございます。

このたび、神奈川県議会第118代議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、その責任の重さを痛感しているところでございます。

名誉と伝統ある神奈川県議会の議長として、922万県民の負託を心に刻み、その重責を果たしていく所存でございます。

さて、本県を取り巻く状況を見ますと、県民生活に影響を与えている物価高騰への対応や、地域経済の発展、脱炭素社会など持続可能な社会の実現、頻発化する大規模災害への備えなど、課題が山積しています。

県議会といたしましても、県民の皆さまの視点でこれらの諸課題に機敏に対応し、審議を尽くしてまいりたいと存じます。

また、今年11月には、日本で初めてとなる「東京2025デフリンピック」が開催されますので、これを契機として、「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けた取組を更に進めてまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

副議長



たにくち
谷口 かずふみ
公明党
大和市

不安を抱える県民の皆さまに寄り添いながら、活発な議論を重ね、必要な施策を講じていきます。

このたび、神奈川県議会第119代副議長に就任いたしました。

身に余る光栄であると同時に、その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

私たちの生活においては、食料品や日用品などの物価高騰のほか、闇バイト、SNSによる投資詐欺等の多様化する犯罪などにより、県民の皆さまが抱える不安は募るばかりです。

県議会といたしましても、こうした不安を抱える方々に寄り添いながら、活発な議論を重ね、必要な施策を講じていく必要があります。

長田議長のもと、私自身も皆さまの期待に応えることができるよう精一杯努めてまいります所存でございます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

正副議長就任のあいさつ動画はこちらから



主な活動〈第2回定例会〉

本会議など

(5月15日～6月26日)

- 議長、副議長の選出
- 各委員の選任
- 知事提案説明
- 代表質問(2面)
- 一般質問(3面)
- 議案の審査
- 議案等の採決(8面)

常任委員会

(6月30日・7月1日・22日)

- 議案等の審査(6面)

特別委員会

(7月2日)

- 調査

本会議

(7月25日)

- 議案等の採決(8面)



代表質問

6月18日 水・19日 木・20日 金

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬に県議会ホームページに掲載される県議会会議録をご覧ください。
なお、二次元コードから、各質問・答弁の録画映像がご覧いただけます。

会派名・選挙区は、質問時点のもので、質問順は、左上から下に続きます。



人身安全関連事案に対する今後の取組

問 川崎市内で容疑者である元交際相手の自宅から女性の遺体が発見された大変痛ましい事件を踏まえ、人身安全関連事案に対する県警察の今後の取組について、警察本部長の見解を伺う。

答 一連の対応状況について、現在、警務部長を長とする検証チームでの確認を行っており、県公安委員会の指導の下、捜査状況も踏まえ、できるだけ速やかに結果を取りまとめ公表する。その結果を踏まえ、今後、人身安全関連事案の改善点があれば改善し、被害者等の安全確保を最優先に対応していく。

物価高騰・米国関税措置支援

問 物価高騰、米国関税措置及び日産自動車の生産縮小を踏まえ、どのような支援を行うのか、知事の見解を伺う。

答 物価高騰には中小企業の生産性向上や光熱費への支援等を行い、米国関税措置には、中小企業向けの特別相談窓口の設置や資金繰り支援を開始した。日産自動車生産縮小には対策協議会を設立し、効果的な施策等を検討する。

水源環境の保全・再生

問 令和9年度以降の水源環境保全・再生施策について、財源を含め、どう考えているのか、知事の見解を伺う。

答 事業規模は第1回定例会で示した20年間の単年度平均53.3億円から大きく変動しない。財源は現行と同規模の一般財源約13億円を充当し、不足額は個人県民税の超過課税で充当したい。

このほか

病院の経営危機への対応、学校における不審者対策、盛土対策、GREEN×EXPO 2027の開催に向けた取組などについて質問しました。



ストーカー被害者等に対する相談支援の取組

問 相談支援など施策の普及啓発の取組について、知事の見解を伺う。

答 今後は、若年層や困りごとを抱えた方などを対象に、SNS広告などの充実を図るほか、民間団体や関係機関と連携して効果的な情報提供に取り組む。また、警察に相談に来た被害者が、行政の支援にもつながりやすくなるよう、警察署や交番にも相談窓口の周知カードを配布する等の普及啓発に取り組む。

水源環境保全・再生施策

問 次期計画の目標設定と財源措置について、知事の見解を伺う。

答 今後20年間で目標を達成できるよう、5か年の実行計画の素案の中で、具体的な数値目標を設定する。また、現時点の想定事業費53.3億円に一般財源を充当し、その不足額に超過課税を活用すると、納税者一人当たりの平均負担額は約820円に下がる見込みである。

経済情勢下の中小企業支援

問 物価高騰等の情勢を踏まえ、中小企業支援等について、知事の見解を伺う。

答 米国による関税措置への対応として、特別相談窓口を設置し、影響を受けた中小企業を特別融資制度の対象に追加した。また、雇用への影響が見込まれる場合、神奈川労働局等との連携を強化するなど、国や市町村、関係機関等と連携を図り、オール神奈川で支援する。

このほか

ヘイトスピーチやインターネット上の誹謗中傷への対応、外国人犯罪に対する取組、県立高校へ期日前投票所設置などについて質問しました。



自主財源確保の取組

問 数百億円規模の財源不足や東京都とのサービス格差に関する認識と、中長期的な視点を踏まえた自主財源確保への取組について、知事の見解を伺う。

答 財源不足の根本的要因は、地方税財政制度そのものにあり、東京都とのサービス格差は、県民目線から見て納得いくものではないと考える。税収基盤強化に向け、企業立地の促進や成長産業への参入促進など県内経済・産業の活性化に取り組むほか、法人二税

等の超過課税や民間資金の積極的な活用による自主財源の確保に取り組み、持続可能な財政運営を目指していく。

がん患者の「心のつながり」の支援

問 がん患者等が抱える様々な不安や悩みを軽減するため、「心のつながり」をどう支援するのか、知事の見解を伺う。

答 「かながわがんピアサポーター^{*1}」が、相談対応だけでなく、患者同士のつながりもサポートできるよう、技術習得を図る研修を実施する。また、がん患者サロンなどの交流企画を、「防がんMAP神奈川県版^{*2}」も活用し、周知していく。

このほか

教員の未配置解消と今後の採用計画、県営水道における管路整備の取組、山下公園通り周辺地区のまちづくりなどについて質問しました。



障がい者医療の充実

問 障がい者が医療機関を円滑に受診し、スムーズな診療が行える仕組みが必要と考えるが、知事の見解を伺う。

答 今年度、福祉施設と医療機関の連携体制を強化するためのモデル事業を実施する。具体的には、福祉施設が治療に必要な情報を記載した健康カードを作り医療機関と共有したり、医療従事者向けに障がい理解のため研修等を実施したりする。福祉や医療関係者と連携し、

障がい者医療の拠点としての役割を持つ医療機関の位置付けも検討する。

中学校夜間学級の更なる充実

問 県域に中学校夜間学級を新たに設置し、また、その際には学びの楽しさなどが伝わるような名称を検討すべきと考えるが、教育長の所見を伺う。

答 今後、夜間中学の新たな設置について、生徒の状況や通学の実態等を分析しながら、県域の市町村に積極的に働きかけていく。併せて、そこでの学びをイメージできる夜間中学以外の親しみやすい略称についても検討する。

このほか

高齢者の孤独・孤立対策やフレイル予防、盲ろう者への支援、新生児の先天性疾患、県立都市公園施設の老朽化対策などについて質問しました。



持続可能な医療提供体制

問 持続可能な医療提供体制を確保するため、病床再編も含めて、今後どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 病床削減の調査の際は、県として医療機関等の現場の声を国に伝えていく。また、限られた医療人材等を有効に活用するため、今後、県が策定する地域医療構想に、病床再編だけでなく、デジタル技術の導入や医療機関の役割分担などの視点も盛り込み、県民に医療を

持続的に提供できるよう取り組む。

アニマルウェルフェア^{*3}の推進に向けた取組

問 アニマルウェルフェアの推進に向けた取組について、知事の見解を伺う。

答 県では生産者に対し、国の指針に沿った飼育方法の周知や設備面での支援等を行ってきた。しかし、費用負担面から施設改修は一部にとどまっている。今後、畜舎の更新を迎える生産者に個別に働きかけ、効果的な支援を行うほか、スマート技術の開発にも取り組む。

このほか

水田農業へのスマート技術の活用、ロボット等を活用した障がい者支援、校務DX^{*4}の推進、子どもの体験格差解消などについて質問しました。



児童家庭支援センター設置

問 県で開設準備を進める児童家庭支援センターについて、どう設置、運営していくのか、知事の見解を伺う。

答 令和11年度までに3か所のセンターの設置を計画しており、まずは藤沢市内に設置する。また、センターの役割や機能について、市町村等と連携して子育て家庭に周知し、利用を積極的に働きかけることで、子育てに困難を

抱える家庭をしっかりと支援していく。

県立病院の医療安全体制の強化

問 県立病院の医療安全体制の更なる強化に向けて、県としてどう取り組んでいくのか、知事の見解を伺う。

答 今年度の病院機構への負担金の中で、こども医療センターでの医師等の増員や、患者の医療情報を共有する院内スマートフォンを順次導入するための経費を措置した。今後も病院機構が改革を進められるよう、状況を確認するとともに、必要な支援を行っていく。

このほか

市町村DX^{*4}支援、高齢者のペット飼育のための取組、県営水道の災害対応力の強化、県立高校のエレベーター整備などについて質問しました。



国際機関と連携したヘルスケア・未病の海外展開

問 国際機関と連携してヘルスケア・未病産業の海外展開を推進するため、どう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 WPRO^{*5}から、県などと連携してヘルスケア関連の調査研究を行い、各国の健康課題解決に向けた働きかけを行う提案があった。県は、今年8月を目途に、海外展開を目指す企業と川崎市殿町地区に一般社団法人を設立し、10月にはWPROと協定を締結して、ヘルスケア・未病分野の調査研究プロジェ

クト実施に着手したい。実施に当たっては、企業版ふるさと納税等の外部資金の活用を前提に仕組みを検討する。

リチウムイオン電池の分別

問 リチウムイオン電池の県内市町村の回収状況と適切な分別回収の促進にどう取り組むのか、知事の見解を伺う。

答 ごみ集積場等で分別収集を行っているのは県内で14市町にとどまる。そこで県では国の通知を踏まえ、市町村の取組状況や先進事例の共有と、国の財政的支援等の情報提供を行う。また、リチウムイオン電池の危険性や分別の必要性について、チラシ配布やSNS動画などにより、県民への一層の周知を行い、分別意識の定着を図っていく。

このほか

福祉施策の定価格の地域区分、県西部の県立高校の土木人材育成と県土木職の人材確保、半導体関連企業等の誘致などについて質問しました。

Facebookのご案内

フェイスブックページでは、本会議の代表・一般質問の様子や議長の活動など、県議会の情報を発信しています。皆さまのフォローをお待ちしています。

Facebook
神奈川県議会

アカウント名：「神奈川県議会」
https://www.facebook.com/kanagawapref.gikai/



一般質問

6月24日 火・25日 水・26日 木

紙面の都合上、質問・答弁の一部を掲載しています。詳しくは、9月上旬に県議会ホームページに掲載される県議会会議録をご覧ください。
 なお、二次元コードから、各質問・答弁の録画映像がご覧いただけます。

会派名・選挙区は、質問時点のものです。
 質問順は、左上から下に続きます。



たむら
田村 ゆうすけ
自民党 横浜市瀬谷区
横浜市内のがけ崩れ対策

問 横浜市内のがけ崩れ対策について、ハード・ソフト両面から、どう取り組むのか、県土整備局長の見解を伺う。
答 ハード対策としては、急傾斜地崩壊危険区域等の指定要望がある箇所について、国の予算を最大限活用し、整備を促進する。ソフト対策としては、区域の見直しの意義などの説明動画を作成し、県HPに公開するほか、県市の広報紙を活用して周知していく。

このほか 慢性腎臓病対策、県にゆかりのあるアスリートの活用、高校生の就職における応募・推薦方法などについて質問しました。



わたなべ のりゆき
渡辺 紀之
自民党 伊勢原市
かながわ観光連携エリア推進事業の今後

問 かながわ観光連携エリア推進事業において、今後、連携エリアをどう支援していくのか、知事の見解を伺う。
答 今年度から市町村等によるエリア内周遊を促進する取組等に対し、財政的な支援を開始した。また、県とかながわDMO※⁸が協力し、エリア内の会議運営等の連携支援をはじめ、観光データを活用した事業立案や効果検証への助言、国内外へのプロモーション支援などに取り組む。

このほか エイジフレンドリーシティ※⁹の取組、伊勢原市内の浜田川整備、県道61号の伊勢原市内の無電柱化などについて質問しました。



ながた まりな
永田 磨梨奈
自民党 鎌倉市
若年層の薬物乱用防止に向けた取組

問 若い世代の薬物乱用が社会問題となる中、その防止に向け、今後どう取り組むのか、知事の見解を伺う。
答 今年1月には、人気アニメ「はたらく細胞」とコラボした動画を配信した。今年度も、民間企業から「若者に刺さる」情報発信のアイデアを募集し、秋頃から効果的な啓発を行いたい。併せて、X等のSNSも活用し、薬物の危険性について、若者に直接メッセージを届けていく。

このほか 障がい者の多様な働き方の推進、薬局における医療DX※⁴推進への支援、薬場再生の技術支援などについて質問しました。



あいほら
相原 しほ
立憲民主党・かながわクラブ 海老名市
海老名市の交通渋滞対策

問 海老名市内では、まちの発展に道路の整備が追いついていない。海老名市における道路の渋滞対策について、今後どう取り組んでいくのか、県土整備局長の見解を伺う。
答 道路整備の実施計画に県道46号の(仮称)上郷立体整備事業、県道40号の海老名駅入口交差点の改良等を位置付け、対策を進めている。また、海老名市を含む県全体の渋滞状況を見据え、計画の改定案を取りまとめていく。

このほか 子どもの交通事故防止対策、多様な子どもを受け入れる保育所等への支援、男性の更年期障害などについて質問しました。



もりた まなぶ
森田 学
立憲民主党・かながわクラブ 横浜市戸塚区
県営団地の建替え

問 「神奈川県県営住宅 健康団地推進計画」を改定する際には、建替えに着手する団地の選定について、どう考えていくのか、知事の所見を伺う。
答 築年数、応募倍率、改善工事の実施状況等を考慮して、総合的に判断し、選定してきたが、令和10年度の計画改定に向けて、老朽化した団地が特定地域に偏らないようにするなど、地域バランスも含め、改めて検討していく。

このほか 性別にかかわらずDV被害者への支援、高齢者の消費者被害防止、学校の安全対策などについて質問しました。



やまもと てつ
山本 哲
自民党 寒川町
相模川流域下水道の寒川平塚幹線の取組

問 相模川流域下水道の機能強化を図る「寒川平塚幹線」の取組について、県土整備局長の見解を伺う。
答 これまで、高い安全性と耐久性を確保するための構造等を検討してきた。昨年度には、工事に着手するための都市計画手続を完了させた。今後は、工事の実施に向けた詳細設計や河川管理者との調整等を進めるほか、国の予算を活用して事業費確保に努め、一日も早い完成を目指す。

このほか 障がい者の就労支援、小出川の整備と目久尻川の維持管理、水道記念館の今後の活用などについて質問しました。



さとう
佐藤 けいすけ
かながわ未来 厚木市・愛川町・清川村
水源環境保全・再生施策における里山林整備

問 集落周辺の里山林整備や都市部住民との交流事業について、どう進めていくのか、環境農政局長の見解を伺う。
答 水源かん養機能※⁶向上のため集落周辺の里山林を整備するほか、里山林を活用した地域交流の充実等を図り、水源環境を支える大切さについて理解促進に取り組む。令和9年度以降の取組は、市町村や関係団体等と意見交換しながら、9月に示す実行5か年計画の素案に盛り込む。

このほか 宮ヶ瀬湖周辺の振興、総合リハビリテーションセンター人材確保、外国籍生徒等の県立高校受入れなどについて質問しました。



こばやし たけし
小林 武史
自民党 川崎市麻生区
戦後80年を迎えた取組

問 戦後80年目の節目の年を迎えた知事の所感と、戦争の悲惨さや平和の尊さを次の世代に伝えていくための県の取組について、知事の見解を伺う。
答 戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に繋いでいくまさに正念場と考えている。「戦後80年・平和祈念パネル展」の開催のほか、AIを活用した対話型語り部システムの拡充や県民参加による植樹など、取組を充実させる。

このほか 拉致問題の理解促進、自衛隊との連携強化、アフリカ開発会議開催の機会を捉えた取組などについて質問しました。



きぬよ
あらい 絹世
自民党 横浜市磯子区
県立高校におけるヤングケアラー※¹⁰への支援

問 県立高校におけるヤングケアラーへの支援について、どう取り組んでいくのか、教育長の見解を伺う。
答 生徒自身が、自分がヤングケアラーだと気付くよう、チラシやポスターを活用し、継続的に生徒へ啓発していく。また、かながわ子どもサポートドック※¹¹で学校が生徒の抱える困難を把握したら、プッシュ型面談を行い、必要な支援につなげている。今後この仕組みの充実に取り組む。

このほか 本庁舎リニューアルによる職場環境改善、プラごみ削減、看護職員が働きやすい環境づくりなどについて質問しました。



さちこ
おだ 幸子
公明党 藤沢市
県営団地の入居申込手續のデジタル化

問 県営団地の入居申込手續のデジタル化について、県民サービスの利便性向上や行政事務の効率化を図る観点から、今後どう取り組むのか、知事の所見を伺う。
答 県営団地の入居申込手續のデジタル化は、利便性向上のため必要であると考えている。今年度で住宅管理システムの改修が終了する予定のため、今後は入居申込手續のデジタル化を進めていく。

このほか 要配慮者への防災に関する普及啓発、5歳児健診の推進、不登校児童・生徒の家族への支援の強化などについて質問しました。



すだ
須田 こうへい
立憲民主党・かながわクラブ 横浜市旭区
自転車用ヘルメットの着用率向上の取組強化

問 ヘルメット着用率向上に向けた県の取組と県教育委員会の高校生への取組につき、知事・教育長の所見を伺う。
答 県では、今年度、啓発用ポスターの高校への配布等を行う。また、幼児、児童及び高齢者のみを対象としている着用促進を全ての年齢に拡大する条例改正を行いたい。県教育委員会では、実例等を収集し、高校生にヘルメット着用の重要性を具体的に示すなど、着用率向上に取り組む。

このほか 重度知的障がい者の地域生活への支援のあり方、指定管理者の選定における評価方式の見直しなどについて質問しました。



おおやま ななこ
大山 奈々子
共産党 横浜市港北区
地域在住の医療従事者との連携

問 居住地の医師を自治体が把握することや、災害時に医師が居住している地域での活動が可能な方に登録をお願いすることについて、市町村や医師会等と連携し検討を行う必要があると思うが、知事の見解を伺う。
答 災害時に協力してくれる医師をあらかじめ把握するため募集と登録を行う仕組みを設けている市町村の事例を他の市町村とも共有し、連携して情報発信していく。

このほか 水道料金の引下げ等、地域公共交通の維持・確保、米軍の事件事故の情報提供のあり方と網紀康正などについて質問しました。



あおき
青木 マキ
県政会・立憲神奈川ネット 横浜市青葉区
若者等への居住支援法人の活動支援

問 若者等の住まいのサポートを行う居住支援法人の活動に対し、どう支援するのか、県土整備局長の見解を伺う。
答 住宅部局と福祉部局が連携し、居住支援協議会の場を活用して、「若者向け自立サポート付き住宅」の取組事例の紹介や、専門家との意見交換会等を開催し、法人のスキルや知識の向上を図る。また、法人への補助金について国に十分な予算確保を要望するなど、活動を支援する。

このほか 生活困窮者等の就労支援、ギャンブル等依存症の防止、困難を抱える女性の通所型支援の取組などについて質問しました。

用語解説

2面 3面 6面

- ※¹ **かながわがんピアサポーター**
様々な不安や悩みを持つがん患者やその家族に対し、がん経験者(ピア)やがん患者家族の立場から共感に基づくサポートを行える人材のこと。
- ※² **防がんMAP神奈川県版**
がん患者やその家族が、必要なときに正しい情報を入手できるツールのこと。
- ※³ **アニマルウェルフェア**
家畜を快適な環境下で飼養することで、家畜の疾病等を減らし、生産性の向上や安全な畜産物の生産につながること。
- ※⁴ **DX**
Digital Transformationの略。データとデジタル技術を活用した抜本的な変革により、生活様式を向上させるという考えのこと。
- ※⁵ **WPRO(ウプロ)**
WHO西太平洋地域事務局のこと。あらゆる公衆衛生問題について、西太平洋地域における対応を行う。
- ※⁶ **水源かん養機能**
森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能のこと。
- ※⁷ **かながわ観光連携エリア**
横浜・鎌倉・箱根に次ぐ、国内外から多くの観光客が訪れる魅力ある観光地域づくりを推進するために、観光の核づくり地域(城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域)と周辺地域が連携したエリアのこと。
- ※⁸ **かながわDMO**
観光地域づくり法人として多様な関係者と共に、「観光地域づくり」を推進していく組織。(公社)神奈川県観光協会が国により登録されている。

- ※⁹ **エイジフレンドリーシティ**
世界保健機関(WHO)が2010年に立ち上げた、高齢者に優しい地域づくりに取り組む自治体等の国際的なネットワークのこと。
- ※¹⁰ **ヤングケアラー**
家族にケアが必要な人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている若者のこと。
- ※¹¹ **かながわ子どもサポートドック**
ひとり親家庭で厳しい経済状況に置かれているなど困難を抱える子どもを早期に発見し、必要な支援につなげていくための仕組みのこと。
- ※¹² **ユニバーサルツーリズム**
高齢や障がい等の有無にかかわらず、すべての人が安心して楽しめる旅行のこと。
- ※¹³ **ブルーカーボン**
大気中の二酸化炭素(CO₂)が海洋生態系によって取り込まれ、長期間、海洋に貯蓄される炭素のこと。森林生態系に取り込まれる炭素を示すグリーンカーボンに対し、2009年国連環境計画(UNEP)の報告書で初めて海洋を区別して定義された。
- ※¹⁴ **EV**
Electric Vehicleの略。電気を使ってモーターを駆動させる自動車のこと。
- ※¹⁵ **さがみロボット産業特区**
国から地域活性化総合特区として指定を受け、生活支援ロボットの実用化や普及を通じた地域の安全・安心の実現のため、ロボットの開発・実証実験の促進などに取り組む地域のこと。
- ※¹⁶ **給付法**
公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の略。日本の公立学校教育職員の給与や労働条件を定めた法律のこと。

インターネット中継のご案内

代表質問、一般質問の模様は、インターネット中継でもご覧いただけます。

神奈川県議会 ネット中継

検索



https://kanagawa-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_list&kaigi_id=1

選挙区別議員紹介



選挙区と定数

の数は選挙区ごとの議員定数です。

会派別議員数等 (令和7年5月26日現在)				
会派名	呼称	議員数	団長	政務調査会会長
自由民主党神奈川県議会議員団	自民党	46人	高橋 栄一郎	藤代 ゆうや
立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団	立憲民主党・かながわクラブ	20人	青山 圭一	栄居 学
かながわ未来神奈川県議会議員団	かながわ未来	10人	京島 けいこ	石川 裕憲
公明党神奈川県議会議員団	公明党	8人	西村 くにこ	亀井たかつぐ
日本維新の会神奈川県議会議員団	日本維新の会	5人	さとう 知一	日浦 和明
県政会・立憲民主神奈川ネット神奈川県議会議員団	県政会・立憲神奈川ネット	4人	小川 久仁子	松長 泰幸
日本共産党神奈川県議会議員団	共産党	3人	井坂 新哉	—
わが町	わが町	1人	—	—
神奈川を変える港南の会	港南の会	1人	—	—
創和会	創和会	1人	—	—
清進の会	清進の会	1人	—	—
合 計(11会派) 定数 105 人		100人		

※会派とは…議会内で結成された、同じ考えを持った議員のグループのことを会派といいます。

横浜市

鶴見区(定数3)

かわさき しょうへい
川崎 修平
自民党

すずき ひでし
鈴木 ひでし
公明党

きさき ちゅうけい
木佐木 忠晶
共産党

うめざわ ひろゆき
梅沢 裕之
自民党

かたぎり のりこ
片桐 紀子
日本維新の会

神奈川区(定数3)

かとう もとや
加藤 元弥
自民党

西区(定数1)

かとう もとや
加藤 元弥
自民党

川崎市

川崎区(定数3)

すぎやま のぶお
杉山 信雄
自民党

にしむら くにこ
西村 くにこ
公明党

さかい まなぶ
栄居 学
かながわクラブ

幸区(定数2)

たなか たくいちろう
田中 徳一郎
自民党

いちかわ よしこ
市川 よし子
立憲民主党・かながわクラブ

中原区(定数3)

たきた こうとく
たきた 孝徳
立憲民主党・かながわクラブ

まつかわ しょうじろう
松川 正二郎
日本維新の会

相模原市

緑区(定数2)

やまぐち みつお
山口 美津夫
自民党

おだ たかひさ
小田 貴久
かながわ未来

かimoto ふみお
河本 文雄
自民党

てらさき ゆうすけ
てらさき 雄介
立憲民主党・かながわクラブ

ささき まさゆき
佐々木 正行
公明党

ほそや まさゆき
細谷 政幸
自民党

きやうじま けいこ
京島 けいこ
かながわ未来

あべ しょうたろう
阿部 将太郎
日本維新の会

中央区(定数3)

やまもと てる
山本 哲
自民党

よしかわ さとし
吉川 さとし
かながわ未来

すぎもと とおる
杉本 透
自民党

南区(定数3)

やまもと てる
山本 哲
自民党

よしかわ さとし
吉川 さとし
かながわ未来

すぎもと とおる
杉本 透
自民党

横須賀市

横須賀区(定数4)

たなか しょうじろう
田中 洋次郎
自民党

かめい たかつぐ
亀井 たかつぐ
公明党

ながい まんと
永井 真人
かながわ未来

いさか しんや
井坂 新哉
共産党

鎌倉市

鎌倉区(定数2)

いいの まさたけ
飯野 まさたけ
立憲民主党・かながわクラブ

平塚市

平塚区(定数3)

よねむら かずひこ
米村 和彦
立憲民主党・かながわクラブ

もり まさあき
森 正明
自民党

ふじい しんすけ
藤井 深介
公明党

ながた まりな
永田 磨梨奈
自民党

いいの まさたけ
飯野 まさたけ
立憲民主党・かながわクラブ

藤沢市

藤沢区(定数5)

わき れいこ
脇 礼子
かながわ未来

まつなが やすゆき
松長 泰幸
県政会・立憲神奈川ネット

よしだ あつき
吉田 あつき
自民党

いちかわ かずひろ
市川 和広
自民党

さちこ
おだ 幸子
公明党

小田原市

小田原区(定数2)

おざわ りょう
おざわ 良央
自民党

ひらの みぎわ
平野 みぎわ
立憲民主党・かながわクラブ

ます せいろう
ます 晴太郎
自民党

茅ヶ崎市

茅ヶ崎区(定数3)

こんどう だいすけ
近藤 大輔
かながわ未来

いしかわ たくみ
石川 巧
自民党

かみくら ひろあき
神倉 寛明
自民党

たに かずお
谷 和雄
創和会

厚木市・愛川町・清川村

厚木区(定数3)

なんば だつや
難波 達哉
自民党

さとう けいすけ
佐藤 けいすけ
かながわ未来

さとう ともかず
さとう 知一
日本維新の会

大和市

大和区(定数3)

ふじしろ ゆうや
藤代 ゆうや
自民党

のうち みつえ
野内 みつえ
立憲民主党・かながわクラブ

たにぐち かずふみ
谷口 かずふみ
公明党

わたなべ のりゆき
渡辺 紀之
自民党

海老名市

海老名区(定数2)

ながた しんじ
長田 進治
自民党

あいはら しほ
相原 しほ
立憲民主党・かながわクラブ

あかたがわ かおる
芥川 薫
自民党

たかはし のぶゆき
高橋 延幸
自民党

つなしま よういち
網嶋 洋一
自民党

寒川町

寒川町(定数1)

やまもと てる
山本 哲
自民党

大磯町・二宮町

大磯町(定数1)

やまもと てる
山本 哲
自民党

足柄上

足柄上区(定数1)

やまもと てる
山本 哲
自民党

4

5

議会運営委員会

議会の運営、会議規則や委員会条例に関することなどを協議・審査します。

令和7年5月22日現在

委 員 長		原 聡 祐(自民党)					
副 委 員 長		石 川 裕 憲(かながわ未来)					
委 員	自 民 党	小 林 武 史	ま す 晴太郎	おざわ 良 央	楠 梨恵子	しきだ 博 昭	
	立憲民主党・かながわクラブ	市 川 さとし	古 賀 照 基	米 村 和 彦			
	か な が わ 未 来	京 島 けいこ					
	公 明 党	お だ 幸 子	鈴 木 ひでし				
	日 本 維 新 の 会	日 浦 和 明					
	県政会・立憲神奈川ネット	すとう 天 信					
現 員		15					
定 数		15					

常任委員会

常任委員会は、常設されている委員会で、本会議から付託された議案、請願の審査を行うほか、部局の所管事項に関する調査も行っています。条例によって8つの常任委員会が設置され、議員はいずれか1つの委員会に所属しています（議長は除きます）。

令和7年5月26日現在

委員会		総 務 政 策	防 災 警 察	文化スポーツ観光	環 境 農 政	厚 生	産 業 労 働	建 設・企 業	文 教
委員長		市 川 和 広 (自民党)	綱 嶋 洋 一 (自民党)	高 橋 延 幸 (自民党)	石 川 巧 (自民党)	山 本 哲 (自民党)	新 堀 史 明 (自民党)	市 川 さとし (立憲民主党・かながわクラブ)	菅原 あきひと (立憲民主党・かながわクラブ)
副委員長		西 村 くにこ (公明党)	栄 居 学 (立憲民主党・かながわクラブ)	作山 ゆうすけ (かながわ未来)	山 口 美津夫 (自民党)	須田 こうへい (立憲民主党・かながわクラブ)	佐藤 けいすけ (かながわ未来)	武 田 翔 (自民党)	おざわ 良 央 (自民党)
委員	自 民 党	ま す 晴太郎 田 中 徳一郎 高 橋 栄一郎 杉 山 信 雄 松 田 良 昭	大 村 悠 加 藤 元 弥 嶋 村 ただし 土井りゅうすけ 原 聡 祐	吉 田 あつき 渡 辺 紀 之 河 本 文 雄 内 田 みほこ 森 正 明	芥 川 薫 柳 下 剛 いそもと桂太郎 持 田 文 男	永 田 磨梨奈 田 中 信 次 藤 代 ゆうや あらい 絹 世 しきだ 博 昭	田 中 洋次郎 神 倉 寛 明 杉 本 透 之 梅 沢 裕 之	小 林 武 史 川 崎 修 平 細 谷 政 幸 桐 生 秀 昭	難 波 達 哉 田村 ゆうすけ 楠 梨恵子 小 島 健 一
	立憲民主党・かながわクラブ	米 村 和 彦 斉 藤 たかみ 一 青 山 圭 一	望 月 聖 子 たきた 孝 徳	飯野 まさたけ 松 崎 淳	赤 野 たかし てらさき 雄介	平 野 みぎわ 市 川 よし子	野 内 みつえ 古 賀 照 基 松 本 清	森 田 学	相 原 し ほ
	かながわ未来	小 田 貴 久 石 川 裕 憲	京 島 けいこ		近 藤 大 輔	脇 礼 子		永 井 真 人	吉 川 さとし 岸 部 都
	公 明 党		鈴 木 ひでし	藤 井 深 介	小野寺 慎一郎	佐々木 正 行	谷口 かずふみ	亀井 たかつぐ	お だ 幸 子
	日本維新の会	日 浦 和 明	さとう 知 一	松 川 正二郎		阿 部 将太郎			片 桐 紀 子
	県政会・立憲神奈川ネット				青 木 マ キ		小 川 久仁子	松 長 泰 幸	すとう 天 信
	共 産 党				井 坂 新 哉		大 山 奈々子		木佐木 忠 晶
	わ が 町			北 井 宏 昭					
	港 南 の 会						浦 道 健 一		
	創 和 の 会							谷 和 雄 柳 瀬 吉 助	
現 員		13	12	12	12	12	13	12	13
定 数		13	13	13	13	13	13	13	13

III

常任委員会で質疑された主な項目

III

総 務 政 策
常 任 委 員 会

国庫補助金の収入漏れ、かながわ水源地域活性化計画、ヘルスケア・ニューフロンティアの推進、県職員の人材確保などについて質疑を行いました。

防 災 警 察
常 任 委 員 会

地震防災戦略、地域防災計画、水防災戦略の取組、自転車をはじめとした交通安全対策などについて質疑を行いました。

文化スポーツ観光
常 任 委 員 会

県民ホール本館の再整備基本構想、スポーツ推進計画の改定、ユニバーサルツーリズム※12の推進、インバウンド誘致などについて質疑を行いました。

環 境 農 政
常 任 委 員 会

温室効果ガス削減の取組、ブルーカーボン※13の取組、EV※14の普及促進、プラスチックごみ対策などについて質疑を行いました。

厚 生
常 任 委 員 会

中井やまゆり園元利用者の死亡事案に係る検証、医療施設等経営強化緊急支援、医療事故の対応、防がんマップ神奈川県版※2などについて質疑を行いました。

産 業 労 働
常 任 委 員 会

米国関税及び日産自動車生産縮小への対応、中小企業制度融資、さがみロボット産業特区※15の取組、最低賃金などについて質疑を行いました。

建 設・企 業
常 任 委 員 会

国庫補助金の収入漏れ、鎌倉市浄明寺における漏水事故、県営水道における管路整備の取組、海上交通「かながわシーライド」などについて質疑を行いました。

文 教
常 任 委 員 会

セクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果、教員の働き方改革の推進、給特法※16の改正、グローバル人材の育成などについて質疑を行いました。



特別委員会

特定の事件について審査・調査するために、必要があるときに設けられます。

令和7年5月26日現在

委員会 区分		共 生 社 会	安 全 安 心・ 未 来 環 境	社会問題対策	デ ジ タ ル・ 新 産 業・健 康
委 員 長		ま す 晴太郎 (自民党)	川 崎 修 平 (自民党)	田村 ゆうすけ (自民党)	楠 梨恵子 (自民党)
副 委 員 長		野 内 みつえ (立憲民主党・かながわクラブ)	飯野 まさたけ (立憲民主党・かながわクラブ)	脇 礼 子 (かながわ未来)	大 村 悠 (自民党)
委 員	自 民 党	小 林 武 史 武 田 翔 田 中 信 次 内 田 みほこ 土井りゅうすけ 原 聡 祐	吉 田 あつき 永 田 磨梨奈 おざわ 良 央 渡 辺 紀 之 あらい 絹 世 小 島 健 一	難 波 達 哉 山 口 美津夫 神 倉 寛 明 細 谷 政 幸 梅 沢 裕 之	田 中 洋次郎 石 川 巧 芥 川 薫 高 橋 栄一郎 嶋 村 ただし
	立憲民主党・ かながわクラブ	森 田 学 望 月 聖 子	相 原 し ほ 市 川 さとし	須田 こうへい 古 賀 照 基 市 川 よし子	平 野 みぎわ 菅原 あきひと
	かながわ未来	岸 部 都	佐藤 けいすけ		吉 川 さとし 近 藤 大 輔
	公 明 党	亀井 たかつぐ	佐々木 正 行	お だ 幸 子	鈴 木 ひでし
	日本維新の会		片 桐 紀 子	阿 部 将太郎	
	県会・立憲神奈川ネット	小 川 久仁子		松 長 泰 幸	
	共 産 党				井 坂 新 哉
現 員		13	13	13	13
定 数		13	13	13	13

共生社会 特別委員会

当事者目線の障がい福祉・障害者雇用、高齢者支援・認知症対策・ケアラーへの支援の推進、高齢者・障害者等介護の支援、特別支援教育、インクルーシブ教育・人権教育、デフリンピック・パラスポーツの推進、部活動の地域移行、多文化共生に向けた取組、人権男女共同参画社会の推進について調査します。

安全安心・未来環境 特別委員会

自然災害対策の推進、交通安全対策・犯罪の起きにくい地域社会づくり、GREEN×EXPO 2027、農林畜水産業の活性化、脱炭素社会の実現に向けた取組、文化芸術振興・KOUGEI EXPO、観光振興・かながわ観光連携エリア、米軍基地対策について調査します。

社会問題対策 特別委員会

子ども・子育てへの支援・少子化対策、児童虐待・いじめ・不登校対策、資源循環の推進、食品ロス問題、生活環境の保全、持続可能な上下水道、安全・安心な住まいづくり、都市基盤整備、交通基盤・新たな交通サービスの充実について調査します。

デジタル・新産業・健康 特別委員会

デジタル戦略推進、ベンチャー・成長産業の創出・育成、生産性向上・人材確保への支援、eスポーツに係る取組、ヘルスケア・ニューフロンティアの推進、未病改善の取組、医療施策の推進、地方創生の推進、特区制度の活用について調査します。

決算 特別委員会

一般会計、特別会計、公営企業会計の決算を審査します。
※決算認定議案が提出された場合に、設置されます。

予算委員会

予算及び予算関係議案の審査を横断的かつ多角的に行うために設置されます。

本県議会では、原則として第1回定例会中に開催されます。ただし、補正予算を審議する必要がある場合、他の定例会においても開催されることがあります。

令和7年5月26日現在

委 員 長		神 倉 寛 明(自民党)			
副 委 員 長		小野寺 慎一郎(公明党) 米 村 和 彦(立憲民主党・かながわクラブ)			
理 事		おざわ 良 央(自民党) 佐々木 正 行(公明党)	須田 こうへい(立憲民主党・かながわクラブ) 松 川 正二郎(日本維新の会)	脇 礼 子(かながわ未来) 青 木 マ キ(県政会・立憲神奈川ネット)	
委 員	自 民 党	吉 田 あつき 石 川 巧 田 中 徳一郎 細 谷 政 幸 松 田 良 昭	小 林 武 史 山 本 哲 渡 辺 紀 之 梅 沢 裕 之	大 村 悠 新 堀 史 明 高 橋 栄一郎 杉 山 信 雄	永 田 磨梨奈 高 橋 延 幸 あらい 絹 世 原 聡 祐
	立憲民主党・ かながわクラブ	平 野 みぎわ 松 本 清	相 原 し ほ てらさき 雄介	栄 居 学	青 山 圭 一
	かながわ未来	小 田 貴 久	岸 部 都	近 藤 大 輔	
	公 明 党	亀井 たかつぐ			
	日本維新の会	さとう 知 一			
	共 産 党	木佐木 忠 晶			
	港 南 の 会	浦 道 健 一			
清 進 の 会		柳 瀬 吉 助			
現 員		40			
定 数		40			

議会選出委員等

令和7年5月26日現在

監査委員

柳 下 剛 斉 藤 たかみ
(自民党) (立憲民主党・かながわクラブ)

神奈川県内広域水道企業団議会議員

小 島 健 一 いそもと桂太郎
(自民党) (自民党)
青 山 圭 一
(立憲民主党・かながわクラブ)

神奈川県川崎競馬組合議会議員

加 藤 元 弥 しきだ 博 昭
(自民党) (自民党)
持 田 文 男 栄 居 学
(自民党) (立憲民主党・かながわクラブ)

地方議会が進める主権者教育



小学生・中学生向け



高校生・大学生向け

三議長会※では、地域の未来を担う子どもたちに、身近な課題を自分のこととして考え、議論し、合意形成を図ることの大切さや、地方議会・議員の役割を周知するため、主権者教育用リーフレットや特設サイトを提供しています。

若者に人気の漫画「葬送のフリーレン」のキャラクターを活用したリーフレット

主権者教育特設サイト
<https://www.gichokai.gr.jp/b18b.asp?SrcID=3&keyword1=>



※ 三議長会：全国都道府県議会議長会・
全国市議会議長会・全国町村議会議長会

議会広報ミニアンケート 協力をお願い

議会かながわやテレビ放送など、県議会の広報に関するアンケートをインターネット上で行っていますので、ご協力をお願いします。お寄せいただいた回答は、今後の広報活動等の参考とさせていただきます。

アンケートはこちら



議案と各会派の賛否

(会派名：左から 自民党、立憲民主党・かながわクラブ、かながわ未来、公明党、日本維新の会、
県政会・立憲神奈川ネット、共産党、わが町、港南の会、創和会、清進の会)

○は賛成×は反対

議案の分類	議 案 名	審議結果	自民	立民	未来	公明	維新	県政	共産	わが町	港南	創和	清進	備考
令和7年度 補正予算(2件)	一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
条例の 一部改正 (12件)	地方税法第37条の2第1項第4号に掲げる寄附金を受け入れる特定非営利活動法人等を定める条例	原案可決												
	神奈川県議会議員及び神奈川県知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例													
	知事及び副知事の給与等に関する条例													
	職員の旅費及び旅行に要する費用の弁償に関する条例													
	県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	神奈川県行政機関設置条例													
	選挙長等の報酬等に関する条例													
	職員の特殊勤務手当に関する条例													
	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例													
	職員の育児休業等に関する条例													
	民生委員定数条例													
	神奈川県立の高等学校等の設置に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
契約 (2件)	工事請負契約の締結(青少年センターホール等設備整備工事(舞台照明) 請負契約)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	工事請負契約の変更(一級河川矢上川地下調節池トンネル本体Ⅰ期工事請負契約)													
その他 (12件)	専決処分(神奈川県県税条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	専決処分(行政指導の趣旨及び責任者を明示した書面の交付請求訴訟の判決に対する控訴について)													
	不動産の処分(逗子市小坪)	原案可決												
	動産の取得(通信機器)													
	指定管理者の指定(相模湖交流センター)													
	指定管理者の指定(宮ヶ瀬やまなみセンター、宮ヶ瀬湖集団施設地区及び鳥居原園地並びに宮ヶ瀬湖カヌー場)													
	指定管理者の指定(地球市民かながわプラザ)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	指定管理者の指定(21世紀の森)													
	指定管理者の指定(宮川特別泊地、宮川一時停係泊特別泊地及び宮川環境整備施設)													
	指定管理者の指定(女性自立支援施設)													
	指定管理者の指定(聴覚障害者福祉センター)													
	損害賠償の額の決定(交通事故に係る保険給付等の求償)													
人事 (4件)	監査委員の選任	同意												
	副知事の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	人事委員会委員の選任													
	公安委員会委員の任命													
議員派遣 (2件)	令和7年度神奈川県議会友好代表団(ドイツ連邦共和国バーデン・ビュルテンベルク州、8人)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席者等1名
	女性議員研究交流大会(東京都千代田区、10人)													

令和7年第3回定例会・会議等の予定

会期：9月8日から12月18日まで(102日間)

9月8日(月)	議会運営委員会・本会議(知事提案説明)・議案説明会
11日(木)	本会議(代表質問)
12日(金)	本会議(代表質問)
16日(火)	本会議(代表質問)
18日(木)	本会議(一般質問)
19日(金)	本会議(一般質問)
22日(月)	議会運営委員会・本会議(一般質問、付託)
25日(木)	常任委員会 (総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
26日(金)	常任委員会 (厚生、産業労働、建設・企業、文教)
29日(月)	常任委員会 (総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
30日(火)	常任委員会 (厚生、産業労働、建設・企業、文教)
10月2日(木)	特別委員会
6日(月)	(予算委員会)
7日(火)	常任委員会(全委員会)
9日(木)	決算特別委員会
10日(金)	議会運営委員会
14日(火)	議会運営委員会・本会議(採決)
15日(水)	決算特別委員会
16日(木)	決算特別委員会
20日(月)	決算特別委員会
22日(水)	決算特別委員会
24日(金)	決算特別委員会
28日(火)	決算特別委員会
30日(木)	決算特別委員会
11月4日(火)	決算特別委員会
18日(火)	議会運営委員会
25日(火)	議会運営委員会・本会議(知事提案説明)・議案説明会
28日(金)	本会議(代表質問)
12月1日(月)	本会議(代表質問)
2日(火)	本会議(代表質問)
4日(木)	本会議(一般質問)
5日(金)	議会運営委員会・本会議(一般質問、付託)
9日(火)	常任委員会 (総務政策、防災警察、文化スポーツ観光、環境農政)
10日(水)	常任委員会 (厚生、産業労働、建設・企業、文教)
12日(金)	特別委員会
15日(月)	常任委員会(全委員会)
17日(水)	議会運営委員会
18日(木)	議会運営委員会・本会議(採決)

※議会の日程は、変更される場合があります。
※最新の日程と開会時刻は、県議会ホームページでご覧いただくか、議会局までお問い合わせください。

可決された意見書等

可決された意見書【5件】

- 地方税財政制度における新たな行政課題への的確な対応を求める意見書
- 速やかな病院経営改善のための支援等を求める意見書
- 脳脊髄液漏出症患者救済を求める意見書
- 訪問介護の基本報酬引下げの見直し等を早急に求める意見書
- 食料の安定供給及び農業の経営安定に向けた取組を求める意見書

採択された請願【2件】

- 速やかな病院経営改善のための支援等について請願
- 神奈川県社会福祉センターにおける社会福祉団体の賃借料減免措置延長を求める請願

▶ 提案された意見書等

本会議に提案された意見書等の全文は県議会ホームページに掲載しております。

意見書案提出書
(令和7年7月24日)

請願文書表
(令和7年6月26日)

神奈川県議会 本会議 記録等

Q検索

<https://www.pref.kanagawa.jp/gikai/proceedings/30202505.html>

津久井やまゆり園事件
この悲しみを力に、
ともに生きる社会を実現します

県立津久井やまゆり園での大変痛ましい事件を決して忘れず、真の共生社会の実現に向け、継続して取り組んでまいります。
憲章全文はこちら▶

神奈川県議会
〒240-0292 神奈川県横浜市中区本町1-1-1
お問い合わせ先 神奈川県議会秘書課総務課 電話 045-210-7524 FAX 045-210-0807